取扱説明書 保管用

屋外用ＬＥＤスポットライト
（防雨型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

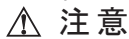
お客様へ　：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品名	光　源	定格電圧	消費電力
AD-2572-N	LED 14.1W×1灯(ミディアム配光・昼白色相当)	AC100V～242V（±6%）	14.1W
AD-2572-L	LED 14.1W×1灯(ミディアム配光・電球色相当)		
AD-2573-N	LED 14.1W×1灯(ワイド配光・昼白色相当)		
AD-2573-L	LED 14.1W×1灯(ワイド配光・電球色相当)		

※1回路当たりの最大接続台数（定格15A配線器具ご使用時）は
　41台（100V入力時）82台(200V入力時）95台（242V入力時）までです。

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書中の「警告」は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の「注意」は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

❗ ＬＥＤ光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

⊘ 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガ、漏電・感電事故の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。
○補強材のない場所への取り付け（ボックスに取付ける場所を除く）　○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けしてください。）
○凹凸のある面には取り付けないでください。
○雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所には取り付けない
★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
○浴室など湿気の多い場所への使用。○サウナへの使用。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⊘ ○取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体指示にしたがって正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

⊘ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⊘ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して発煙や発火の原因となります。

⊘ 濡れた手で作業しないでください。
★感電の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

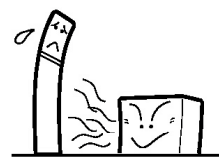
⚠ 注意

❗ 必ず定格電圧で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
★定格電圧以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

❗ この器具は周囲温度５℃～３５℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバーや、一部欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外見に異常がなくても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）

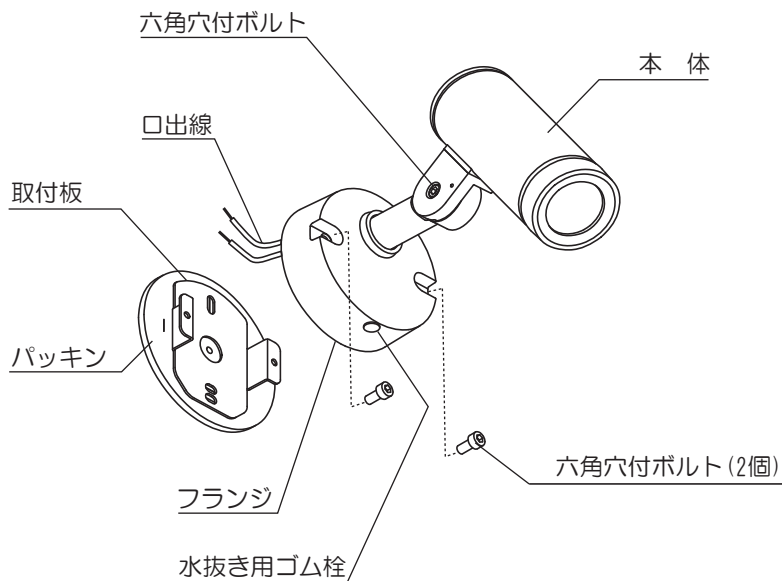
LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。

照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予め御了承ください。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

【付 属 品 】

絶縁ネジ・・・・・・・・2本

六角レンチ（対辺5mm・六角穴付ボルト用）・・・・1本

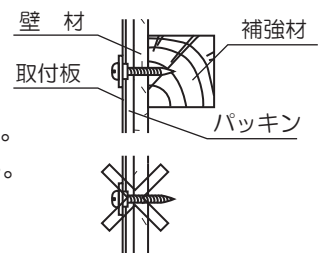
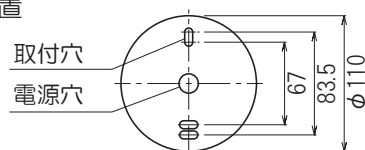
取扱説明書（本書）・・・・1枚

保証とアフターサービスについて・1枚

取り付け場所の確認

⚠ 警告

取付板は、必ず補強材のある場所に取りつけてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。
★コンクリートなど付属の絶縁ネジを直接取り付けられない場合には、金属製木ネジプラグ(カールプラグ等)を別途施工してから取付けて下さい。
★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意下さい。

取り付け面に凹凸がある場合(タイル面など)は、パッキンと取り付け面との隙間を防水シールなどで平らな面に仕上げてください。
★防水が不完全な場合、火災・感電・器具の落下事故の原因となります。

■取り付けピッチと電源位置

取り付け方

⚠ 注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

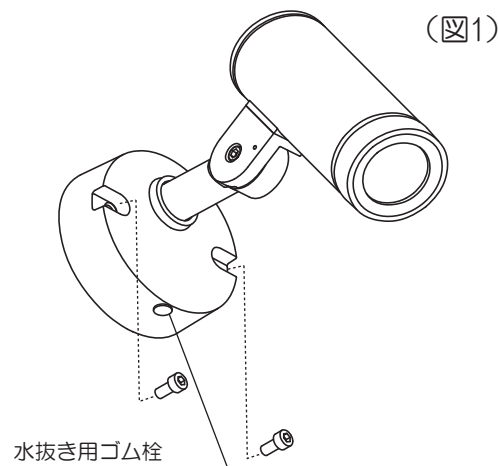
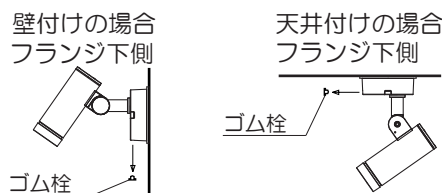
⚠ 警告

器具の取付けは、説明書に従い確実におこなってください。
★取付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

接地（アース）工事は、電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。
★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

1. 器具を取り付ける前に（図1）

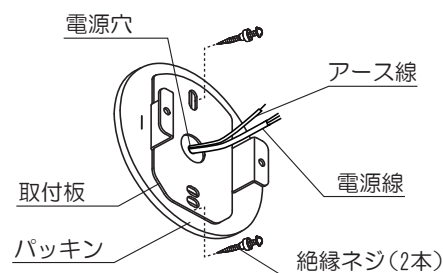
●器具取付面を平らに仕上ます。
取付面に凹凸がありますと取付部のパッキンの
防水性が損なわれますので十分ご注意ください。
1．フランジにセットされている２ヶ所の六角穴付ボルトを
はずして、取付板をはずしてください。
2．取付け方向に従ってそれぞれ水抜き用ゴム栓をはずして
ください。

（図1）

2. 取付板を取り付けます。（図2）

●パッキンと取付板の電源穴に電源線とアース線を通してから
付属の絶縁ネジ（２本）にてパッキンと取付板を固定してください。
●取付方向が指定されています。取付板の取付方向表示に合わ
せて取り付けてください。

⚠注意 建物の構造によっては、付属の絶縁ネジで取り付けられ
ないことがまれにあります。その様な場合には、器具
取付場所の構造を確認の上、適切な長さの絶縁ネジにて
取り付けてください。

⚠警告 ●締め付けが弱かったり、隙間があると感電、漏電や器具
落下による器具その他の破損やケガの原因となります。
●器具取付面には、フランジ内への雨水侵入防止のため、
平らな面に必ずパッキンを介して取付をしてください。

（図2）

3. 電源線を接続します。

●電源線の被覆をむいて口出線と接続してください。
●裸線が見えないように、自己融着テープ（別途）などで
しっかりと巻きつけた上、絶縁テープを巻いてください。
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

4. アース線を接続します。

●フランジについているアース端子にアース線を接続して
ください。
**★不良の場合、感電、漏電の原因となります。
必ずD種接地工事を施してください。**

5. 本体を取り付けます。（図3）

●取付板の取付方向シールとフランジ内側の銘板の位置を合わ
せ、六角穴付ボルト（2個）で確実に固定します。

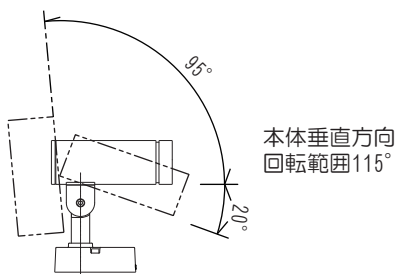
⚠警告 指定方向以外の取り付けを行うと、落下、感電、火災
の原因となります。

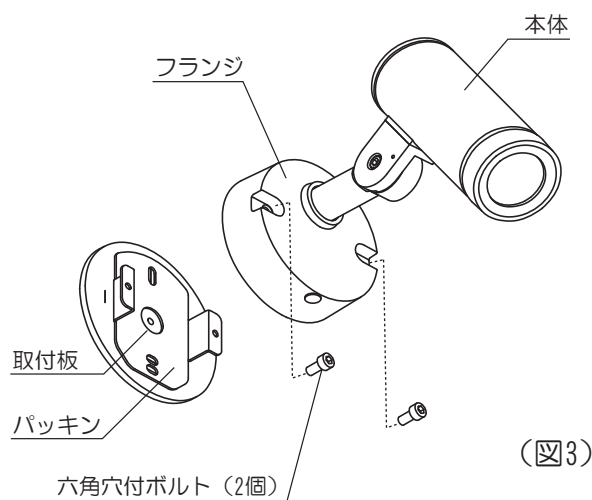
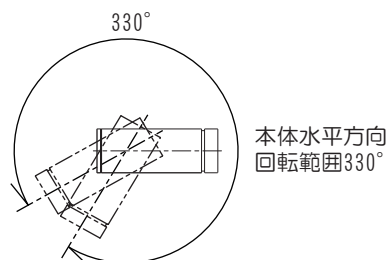
（図3）

6. 任意の照射方向に器具を合わせてください。

❗ 照射距離は照射物より0.1m以上はなしてください。

垂直方向の調整

●垂直方向の調整を行う際は、付属の六角レンチで
六角穴付ボルトをゆるめてから本体をゆっくりと
動かしてください。
調整後は、六角穴付ボルトをしっかりと締めて
固定してください。

水平方向の調整

●回転範囲内で本体をゆっくりと動かしてください。
●回転ストッパーが効く位置から無理に回転させない
でください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注 意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●1年に1回はお手入れを行い、異常が無いか点検をしてください。
また、3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行わずに長時間使用し続けますとまれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注 意

●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■光源ユニットについて

●LED照明器具の光源寿命（※）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか
短い時間を推定したものです。

■お手入れのしかたについて

1．電源を切ります。

2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。

3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。

4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。